

## うるま市初の女性教育長へインタビュー!



平成30年6月7日、うるま市初の女性教育長として就任した嘉手苺教育長にお話を伺いました。

### (1) うるま市の学校や子ども達の特徴について

うるま市の子ども達のよさは、全国学力・学習状況調査の結果から、「**将来の夢を持っている割合が高い**」「**素直な子**」が多いことが一番にあげられます。純真な純朴さを持った子が多いのはうるま市の特徴ではないでしょうか。

うるま市は僻地校、小規模校から大規模校まで様々な規模の学校があり、学校数も**中頭最大数**となっています。それぞれの地域の特性と伝統を持つ学校ですが、うるま市合併当時に、指導主事として学校を訪問した時と、13年目を経て平成30年に学校を訪問した印象では、**学校が大きく良い方向に変わった**と感じています。

現在、子ども達の表現力が伸び、学校全体に活力が出てきたことを感じています。



かでかる ひろみ  
嘉手苺 弘美 教育長

### (2) 教育長として、これから取り組んでいきたいこと、頑張りたいこと

**全ての子どもが笑顔で自分の力に自信を持ち、夢が描ける環境を整えていきたい。**そのため、物的環境として校舎はもちろん学びの場にふさわしい環境を充実させていきたい。人的環境としては、教えるプロとしての教師の指導力を高め、子ども達の持っている可能性を十分に引き出していきたい。

また、学校を核とした地域づくりをめざし「**子どもは地域の宝、地域の未来**」を合言葉に地域全体で子どもの成長を見守り支援していくための市民協働学校(コミュニティースクール)を全小中学校に導入したい。さらに、市長部局との連携を強化し、小さい頃からの特別に支援が必要な子の支援体制の構築、子どもの貧困対策にも取り組んでいきたいと考えています。

### (3) 教育長が、女性として心がけていること、大切にしている思い

わがんあいご『和顔愛語』で人に接し かくぶつち『格物致知』にて事を為す。

笑顔でいること、成長するために学び続けること、同じ女性から憧れられる先輩でいること

### (4) 後輩たちにひとこと

子育ても楽しみながら、生きがいを持って楽しく仕事をしてほしい。

**“食べるために仕事をするのではなく、仕事をするために食べる”**

楽しんで仕事をしていれば、支援者が増えます。私も子育てで大変な時期もありましたが、多くの人に助けられながら仕事を続けてこれました。

## 平成30年4月より、市内全小中学校で男女混合名簿が導入されました。

### ～慣習という「隠れたカリキュラム」を見直そう～

学校に入学すると同時に、毎日のように名前を呼ばれたり並んだりします。これまで多くの学校で、男女別々に分けられ「男子が先」「女子が後」という方式を取ってきました。

「男子が先」「女子が後」という秩序のもとで毎日繰り返される学校生活の影響により、無意識のうちには男女の序列を生み出し、性別による役割分担が刷り込まれていくことを「隠れたカリキュラム」といいます。このような隠れたカリキュラムを是正し、お互いの性を尊重し、自分らしさを育むことを目的に、4月から性別で分けない名簿(男女混合名簿)が導入されています。

# ～男女共同参画週間～

平成30年度テーマ

## 「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」

国は毎年6月23日～29日までの一週間を「男女共同参画週間」としています。本市においても健康福祉センター「うるみん」において、男女共同参画に関する様々な情報を提供するパネル展(19日～29日)、波平 エリ子氏による「トートーメーの継承」講座(9日)、リーゼント良龍氏による「イクメン読み聞かせ」講座(30日)を開催し、多くの市民が男女共同参画社会について学ぶ機会となりました。

### ～パネル展編～



平安座自治会長  
五嶋 真智子さん

平安座はサングワチャー、ハーリー大会、綱引き、ウスデーク等の伝統行事が多いです。人口減少で厳しいこともあります。老人会、婦人会、青年会、たくさんの区民の協力を得ながら伝統行事の継承、保存に力をいれていきたいと思っています。

区民の皆さんから苦情や相談事があると必ず訪問して話を聞くこと、現場に出向いて対応することを心がけています。

また、公民館に気軽に来ていただけるよう、話しやすい雰囲気づくりも大切にしています。



栄野比自治会長  
謝花 スミ子さん

栄野比区では、高齢者を大事にし、お世話をするボランティアグループ(なんくる会)を中心に、困っている方に目を向け接していくように皆で協力をしています。

区民の皆さんの声に耳をかたむけ、その中でも区で対応できること、また行政への要請

事項は、なるべく早めに行動するようにしています。

公民館へ多くの区民が足を運べる体制づくりをしていきたいです。



松島区自治会長  
西原 洋子さん

松島区は独居老人が多いので、普段の目配り、気配りが大事だと感じています。区民の状況を把握するためには、お話し上手でなければならず、地域のパイプ役だということに常に忘れないように心がけています。

松島区はやる気がある人材が多く、大きな絆で結ばれています。今、公民館の建設のために、区民、地域全体がしっかりと今までにないほどのチームワークを築き上げ、やる気をかきたてているところです。



## うるま市の誇る女性カメラマン

「牛飼いかメラマン」 くだけ ゆきえ 久高 幸枝さん

久高さんは、近年メディアでも注目され続けている話題の牛飼いかメラマンです。「うるま市海の文化資料館」での闘牛の魅力伝える写真展も8年目を迎え、昨年、「写真集 闘牛女子2」を発刊しました。闘牛への愛が溢れる、うるま市の誇る女性カメラマン久高さんの将来の夢と、これから夢を追いかける若い女性へのアドバイスを伺いました。

「みなさんに闘牛のすばらしさを理解してもらって、闘牛がずっと続いてほしいと思います。いつか闘牛場に、家族全員で楽しめるような闘牛パークを作りたいです。大会がない日でも牛と触れ合えたり、常設の資料展やお土産店を開設するのです。お土産はうるま市の特産物や、牛皮など牛の一部を使った製品、闘牛場でしか食べることができない牛肉料理などを販売できたらいいと思います。」

大切なのは自分から動いて発信していくことだと思います。あきらめずにコツコツと続けることでだんだんと周りの方からの応援や協力もいただくことができるはずです。」



## ～講座編～

6/9 ± 「トートーメーの継承  
～現在・過去・未来～」



なみひら  
波平 エリ子氏による講座の様子

### 受講者の声

- トートーメーの継承についてわからない事が多く、講演を聞いて理解が深まりました。
- 長男嫁であるが、講演を聞いてプレッシャーが軽くなった気がします。
- 娘しかいなくて今まさにトートーメーの継承についての問題に直面しているため受講しました。今日はとてもよかったです。少し肩の荷がおりました。

6/30 ± 「リーゼント良龍さんの手作り  
絵本の読み聞かせとイクメン秘話」



りょうりゅう  
リーゼント良龍氏による読み聞かせの様子

### 受講者の声

- 楽しく、元気をもらえました。子育て、夫婦のあり方をたくさん学ばせていただきました。ありがとうございました。
- お話が楽しくて時間がたつのも忘れず。又人生のすばらしい格言、すてきな言葉をたくさんお勉強させて頂きました。笑いもあり楽しかったです。
- リーゼントが35年続いているとびっくりした。リーゼントさんの説明書がおもしろかった。

## 平和朗読会と戦争写真展



7月31日に健康福祉センターうるみにて、天願 綾子氏による平和朗読会と「証言でつづる沖縄戦」の写真展を開催しました。

戦争のない平和な世の中であり続けるためにはどうあるべきか考えさせられる朗読会と写真展でした。

## 思春期の心と体プログラム

うるま市では、男女共同参画推進事業の取り組みの1つとして、市内中学校を対象におきなわCAPセンターの講師を派遣して、思春期の人権とDV 予防講座を開催しています。



### 生徒の感想

- 自分は大切な存在であることが分かった。
- 人との関わり方を学ぶことができた。

## 第7期 男女共同参画審議会委員委嘱状交付式



8月1日(水)に第7期うるま市男女共同参画審議会委員委嘱状交付式を行いました。

式では委員に委嘱状が交付され、当間重俊市民部長より「第2次うるま市男女共同参画行動計画策定に関する審議や施策に対する提言、地域での男女共同参画の推進を担っていただくようお願いします。」との激励のあいさつがありました。

## 男女共同参加社会づくり推進事業補助金を活用してみませんか？

- 対象団体**：①市内に在住または勤務する方によって構成されている  
 ②構成員が概ね10名以上  
 ③継続的に活動を行っている又は行おうとしている  
 ④政治活動、宗教活動又は営利活動を行っていない

**対象事業**：男女共同参画社会づくりに関する学習会、講演会等  
 男女共同参画社会づくりに関する意識啓発事業  
 その他男女共同参画社会づくりに関する事業

**補助金の額**：1事業あたり2万円

## こ・と・ば

\* ジェンダーとは

生物学的な性の違いに対して、社会的・文化的に形成された性差のことをいいます。「男だから」、「女だから」とか、「男は仕事、女は家庭」などの性別役割分担意識も、このジェンダーの一部です。

## 相談窓口のご案内

ひとりで悩まずに、まずはご相談ください。

- うるま市女性相談室・・・☎973-5041 (月～金 9:00～17:00/ 年末年始・祝祭日除く)
- おきなわ子ども虐待ホットライン・・・☎886-2900 (月～金 17:30～翌日 8:30/ 土日・祝祭日は24時間)
- 中部配偶者暴力相談支援センター・・・☎989-6603 (月～金 8:30～17:15/ 年末年始・祝祭日除く)
- ているる相談室  
男性専用 (日・月 10:00～16:00)・・・☎868-4011  
女性専用 (火～土 10:00～20:00)・・・☎868-4010
- よりそいホットライン・・・☎0120-279-338 (年中無休/24時間対応)
- 性暴力被害者ワンストップ支援センター・・・☎#7001 (月～土 9:00～17:00/ 祝祭日除く)・・・☎888-2060
- 沖縄県警察本部警察安全相談 (DV等) ☎863-9110

◆男女共同参画センターについての情報をうるま市のホームページでも発信しています。ぜひご覧ください。